

「世界初のトンボ保護区づくり」 5年

ゲストティチャー：杉村 光俊さん



9月14日（木）の道徳の時間に授業の後段で杉村さんが来てくれ、いろいろなトンボを見せてくれました。ありがとうございました。

『道徳ノートより』

○今日の授業で、ぼくは自然をこわすのは簡単だけど、それを元通りにするのは難しいんだなと思いました。理由は、杉村さんはトンボたちがたくさんいた所をうめたてられてしまい、杉村さんが土地を買い取り、トンボたちの住みよい場所を作ろうとしたけど、土地を買うだけでも時間をかけて買ったのに、トンボがすみやすい所をつくるのも時間をかけてやっとできたからです。

そして、ぼくは、今の授業であらためて自然を大切にしたいなと思いました。ぼくは、杉村さんがトンボたちを心からいなくてはいけない、トンボたちをすくいたいと思った人だなと思いました。

これからは、もっと虫や自然を大切にしたいなと思いました。

○わたしは、「世界初のトンボ保護区づくり」という話の道徳をしました。今日の授業で、自分から進んで、トンボなど自然を守ろうとする気持ちや助けようとする気持ちをもって、努力することを学びました。それに、この全国版の副読本に、自分が住んでいる高知県四万十市がでていてすごいと思ったしトンボ公園が世界初のトンボ保護区と知って、とてもすごい場所なんだなと思いました。まず、杉村さんがトンボに興味を持って、オニヤンマを見たいと思った時の気持ちは、とってもわくわく思っていたと思います。次に、トンボが生息していた場所がうめたてられてすごく悲しくなったと思うし、トンボがかわいそうだなと思ったと思います。

それから、杉村さんはトンボが住みやすい場所をつくりたいと思って、自分でトンボ保護区づくりの活動をしている時に、トンボを住みやすい所に住ませて助けてあげたいと思ったと思うし、これからも、トンボや自然を守りたいと思ってトンボや自然を守りたいと思っていたと思います。

最後に、杉村さんに会って、たくさんのトンボの種類や意味について教えてもらって、杉村さんは、すごくトンボにくわしくてすごいなおもいました。

わたしは、これからは、自然やトンボを大切にしていきたいです。

『お礼の手紙』

